

プログラム 10月13日(日)

第1会場 (16F タワーズボールルームI+II)

8:00~8:50 モーニングセミナー 1 「疾病負荷の可視化～患者さんに寄り添った治療の実現～」

座長：佐藤 伸一(東京大)
松下 貴史(金沢大)

MS1-1 疾病負荷を把握することの意義と PRO

加藤 則人 (かとう のりと)
京都府立医大

MS1-2 Type2 炎症性皮膚疾患における PRO の活用術

大塚 篤司 (おおつか あつし)
近畿大

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

9:00~11:00 シンポジウム 3 「皮膚科の楽しさを手に入れた私達」

座長：西田 絵美(名古屋市立大西部医療センター)
国本 佳代(和歌山県立医大)

SY3-1 未来を担う皮膚科医へ：臨機応変に楽しむ皮膚科の魅力

渡邊 裕子 (わたなべ ゆうこ)
横浜市立大

SY3-2 大学病院での診療の魅力

国本 佳代 (くにもと かよ)
和歌山県立医大

SY3-3 市中病院皮膚科医のやりがい

加藤 麻衣子 (かとう まいこ)
大阪南医療センター

SY3-4 皮膚科の楽しさ×挑戦と人のつながりの大切さ

高村 さおり (たかむら さおり)
埼玉医大総合医療センター

SY3-5 私的、ウェルビーイングを目指した皮膚科ライフの過ごし方

藤本 智子 (ふじもと ともこ)
池袋西口ふくろう皮膚科クリニック 東京都豊島区

SY3-6 北大皮膚科爪外来開設までの経緯と今後の目標

椎谷 千尋 (しいや ちひろ)
北海道大

11:10~11:50 特別講演 5

座長：森田 明理(名古屋市立大)

- SL5 日本の科学技術力の凋落—原因と対策
島田 眞路 (しまだ しんじ)
山梨大/ヴィアトール学園

12:00~13:00 ランチョンセミナー 7 「アトピー性皮膚炎治療 up to date」

座長：藤本 学(大阪大)
天野 博雄(岩手医大)

- LS7-1 新たな時代を迎えたアトピー性皮膚炎の治療—バリシチニブの立ち位置を再考する—
神谷 秀喜 (かみや ひでき)
中部国際医療センター
- LS7-2 アトピー性皮膚炎病態における IL-13 の役割とは
本田 哲也 (ほんだ てつや)
浜松医大

共催：日本イーライリリー株式会社

13:20~15:20 スポンサーシンポジウム 2 「Type2 炎症性皮膚疾患の潮流～Type2 炎症を広く捉える～」

座長：戸倉 新樹(中東遠総合医療センター)
椛島 健治(京都大)

- SSY2-1 慢性特発性蕁麻疹 (CSU) の病態とその臨床応用について考える
矢上 晶子 (やがみ あきこ)
藤田医大
- SSY2-2 結節性痒疹の病態における IL-4/13 の役割
中嶋 千紗 (なかしま ちさ)
近畿大
- SSY2-3 リアルワールドデータから考える、アトピー性皮膚炎における IL-4/IL-13 抑制の意義
今井 康友^{1,2)} (いまい やすとも)
¹野田阪神駅前いまい皮フ科小児皮フ科アレルギー科 大阪府大阪市、²兵庫医大

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

15:20~15:30 閉会式・次期会長挨拶

第2会場 (16F タワーズボールルーム III)

8:00~8:50 モーニングセミナー 2 「バリアと搔破から考えるアトピー性皮膚炎治療戦略」

座長：室田 浩之(長崎大)
佐藤 貴浩(防衛医大)

MS2-1 アトピー性皮膚炎における皮膚バリアケアの重要性を再考する
乃村 俊史 (のむら としふみ)
筑波大

MS2-2 かゆみをコントロールする意義～ネモリズマブによる治療戦略～
茂木 精一郎 (もてぎ せいいちろう)
群馬大

共催：マルホ株式会社

9:00~10:00 共通講習 2 【医療制度と法律】

座長：真柄 徹也(三重北医療センターいなべ総合病院)

共通 2 医師の働き方改革：現場の挑戦と3年後の見直しに向けた制度の展望
藤川 葵 (ふじかわ あおい)
聖路加国際病院一般内科 (元厚生労働省医系技官)

10:10~11:10 教育講演 5 「毛髪疾患」

座長：乾 重樹(心斎橋いぬい皮フ科)
大嶋 雄一郎(愛知医大)

EL5-1 多様な毛髪疾患の診察と治療：経口 JAK 阻害剤時代を迎えて
今西 久幹 (いまにし ひさよし)
大阪公立大

EL5-2 新ガイドラインに基づく円形脱毛症の診断治療 update
伊藤 泰介 (いとう たいすけ)
浜松医大

12:00~13:00 ランチョンセミナー 8 「患者さんの日常を取り戻すために～JAK 阻害剤の有用性～」

座長：下村 裕(山口大)

LS8-1 アトピー性皮膚炎の病態におけるサイバインコの作用機序と実臨床での使いどころ
福本 毅 (ふくもと たけし)
神戸大

LS8-2 最新ガイドラインに基づく円形脱毛症の診断治療 Update
伊藤 泰介 (いとう たいすけ)
浜松医大

共催：ファイザー株式会社

13:10~14:10 日本皮膚科学会 専門医指導医講習会

座長：石河 晃(東邦大)
今福 信一(福岡大)

指導医 1 専門医制度の概要と最新情報

石河 晃 (いしこう あきら)
東邦大

指導医 2 専門医試験および更新の注意点

今福 信一 (いまふく しんいち)
福岡大

14:20~15:20 教育講演 7 「血管炎」

座長：藤本 学(大阪大)
金澤 伸雄(兵庫医大)

EL7-1 皮膚科医として、血管炎に対峙する際の極意

川上 民裕 (かわかみ たみひろ)
東北医科薬科大

EL7-2 リウマチ専門医・アレルギー専門医試験に出題される血管炎の治療

神人 正寿 (じん にん まさとし)
和歌山県立医大

15:50~17:50 2024 年度日本皮膚科学会中部支部企画研修講習会 「光皮膚科学」

座長：西田 絵美(名古屋市立大西部医療センター)

研修-1 光線過敏症の診断へのアプローチ

牧野 輝彦 (まきの てるひこ)
富山大

研修-2 光線治療の選択とその工夫

三上 万理子 (みかみ まりこ)
横浜西口菅原皮膚科 神奈川県横浜市

第3会場 (16F アイリスI)

8:00~8:50 モーニングセミナー 3 「覚えておきたい！皮膚トラブルのメカニズムと治療」

座長：秀 道広(広島市立広島市民病院)

MS3-1 蕁麻疹診療の現在そして未来

中原 剛士 (なかはら たけし)
九州大

MS3-2 アトピー性皮膚炎の診断と治療戦略
 青山 裕美 (あおやま ゆみ)
 川崎医大

共催：田辺三菱製薬株式会社/帝國製薬株式会社

9:00~10:20

一般演題 12 「膠原病」

座長：長谷川 稔(福井大)
 小寺 雅也(JCHO 中京病院)

Keynote lecture 9

- KL9 膠原病のトピックス 3 選
 濱口 儒人 (はまぐち やすひと)
 金沢大
- 141 多発性硬化症に対するオフアツムマブによる B 細胞除去療法中に全身性強皮症を発症した 1 例
 南 有紀 (みなみ ゆき)、笹谷 てるる、岡村 麻衣花、森 明日香、有馬 亜衣、正畠 千夏、小川 浩平、宮川 史、新熊 悟、浅田 秀夫
 奈良県立医大
- 142 全身性強皮症に対する生物学的製剤治療中に皮膚硬化が増悪し、リツキシマブで改善した 1 例
 田中 沙季 (たなか さき)、山田 昌弘、竹内 早紀、山田 益丈、伊藤 有美、小寺 雅也
 JCHO中京病院
- 143 抗セントロメア抗体陽性全身性強皮症に大型から中型血管閉塞による重症下肢虚血を合併した 1 例
 竹村 千穂美¹⁾ (たけむら ちほみ)、小川 浩平¹⁾、西村 友紀¹⁾、中井 貴大²⁾、宮川 史¹⁾、新熊 悟¹⁾、浅田 秀夫¹⁾
¹⁾奈良県立医大、²⁾奈良県立医大放射線・核医学科
- 144 下肢の広範囲に熱感を伴う有痛性紅斑と皮下硬結を呈し全身性強皮症を合併した深在性エリテマトーデスの 1 例
 望月 紅葉 (もちづき くれは)、大筋 由里佳、川邊 瑠璃子、三浦 俊介、吉崎 麻子、山下 尚志、住田 隼一、佐藤 伸一
 東京大
- 145 著明な組織球浸潤を呈した新生児エリテマトーデスの 1 例
 水谷 有希¹⁾ (みずたに ゆき)、林 昭伸²⁾、山中 恵一¹⁾
¹⁾三重大、²⁾三重大病理診断科
- 146 著明な縦隔および腸管気腫を合併した抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の 1 例
 前田 百合香¹⁾ (まえだ ゆりか)、水谷 健人¹⁾、中西 真理^{1,2)}、齋藤 拓郎¹⁾、杉岡 恭子¹⁾、北川 敬之¹⁾、波部 幸司¹⁾、山中 恵一¹⁾
¹⁾三重大、²⁾市立四日市病院
- 147 びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) に合併した抗 TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎の 1 例
 辻 宙¹⁾ (つじ ひろむ)、植田 馨介¹⁾、市來 尚久¹⁾、丹羽 宏文¹⁾、周 円¹⁾、松本 拓郎²⁾、岩田 浩明¹⁾
¹⁾岐阜大、²⁾岐阜大血液・感染症内科

- 148 抗ミトコンドリア M2 抗体を伴った抗 NXP-2 抗体陽性皮膚筋炎の 1 例
大喜多 萌^{1,2)} (おおきた はじめ)、岩田 洋平¹⁾、山北 高志¹⁾、安田 滯奈^{1,3)}、湯浅 智子¹⁾、
杉浦 美月¹⁾、室 慶直⁴⁾、杉浦 一充¹⁾
¹⁾藤田医大、²⁾刈谷豊田総合病院、³⁾公立西知多総合病院、⁴⁾名古屋大
- 149 疼痛を伴った指先の潰瘍が発見の経緯となった抗 SRP 抗体陽性壊死性筋症の 1 例
中園 学¹⁾ (なかぞの まなぶ)、山崎 文和¹⁾、斎藤 成美¹⁾、清水 知道¹⁾、近藤 章生¹⁾、
永田 栄一郎²⁾、馬淵 智生¹⁾
¹⁾東海大、²⁾東海大神経内科
- 150 マクロファージ活性化症候群を合併した成人スティル病の 1 例
櫻井 琴子¹⁾ (さくらい ことこ)、柴田 知之¹⁾、神戸 崇行²⁾、柳下 武士³⁾、渡辺 大輔¹⁾
¹⁾愛知医大、²⁾愛知医大腎臓・リウマチ膠原病内科、³⁾高針台皮膚科クリニック 愛知県名古屋市
- 151 非定型疹を呈し、マクロファージ活性化症候群を合併した成人 Still 病の 1 例
衛藤 景子¹⁾ (えとう けいこ)、小川 浩平¹⁾、金谷 萌¹⁾、上西 義則²⁾、浅田 萌²⁾、松原 正樹²⁾、
米今 諒²⁾、宮川 史¹⁾、新熊 悟¹⁾、浅田 秀夫¹⁾
¹⁾奈良県立医大、²⁾奈良県立医大総合診療科
- 152 片側耳介腫脹で発症し、耳介軟骨生検で診断し得た再発性多発軟骨炎の 1 例
大畑 美可子 (おおはた みかこ)、新熊 悟、川西 智子、小川 浩平、宮川 史、浅田 秀夫
奈良県立医大
- 153 ベーチェット病皮膚粘膜症状重症度スコアの設定と東北医科薬科大学皮膚科での使用調査
川上 民裕 (かわかみ たみひろ)、池田 高治、横山 華英、菱沼 有紀
東北医科薬科大

10:20~11:00 一般演題 13 「血管炎・循環障害」

座長：長谷川 稔(福井大)
小寺 雅也(JCHO 中京病院)

- 154 扁桃摘出術が著効した難治性 IgA 血管炎の 1 例
三浦 真理子¹⁾ (みうら まりこ)、山本 祐実¹⁾、西依 諒¹⁾、中園 裕一²⁾、橋本 馨³⁾、安倍 伸幸³⁾、
甲斐 宜貴³⁾
¹⁾別府医療センター、²⁾別府医療センター病理診断科、³⁾別府医療センター耳鼻咽喉科
- 155 インフルエンザワクチン接種後に蕁麻疹様血管炎を発症した 1 例
三間 芳人^{1,2)} (みま よしひと)、大塚 勤²⁾、江波戸 一平²⁾、中田 侑宏²⁾、乗松 雄大³⁾
¹⁾東京警察病院、²⁾国際医療福祉大病院、³⁾国際医療福祉大成田病院
- 156 外傷契機に発症、右上肢に局限した皮膚動脈炎(旧名、皮膚型結節性多発動脈炎)の 1 例
野田 絵織 (のだ えおり)、桃原 真理子、明石 憲佳、森 章一郎、山下 雄太、小泉 遼、
神谷 怜志、武市 拓也、室 慶直、秋山 真志
名古屋大
- 157 抗甲状腺薬により ANCA 関連血管炎を発症した 1 例
飯沼 紀実 (いいぬま きみ)、中嶋 千紗、白居 駿也、大塚 篤司
近畿大

- 158 メボリズムブ早期投与にて改善を得た好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例
吉田 絵美¹⁾ (よしだ えみ)、釜田 菜那¹⁾、明石 愛子¹⁾、石川 悠梨子¹⁾、上田 沙紀¹⁾、鷺尾 健¹⁾、
佐々木 祥人²⁾
¹⁾神戸市立西神戸医療センター、²⁾西明石佐々木皮ふ科 兵庫県明石市
- 159 左下肢動静脈シャントによる盗血症状の1例
中村 賢人¹⁾ (なかむら けんと)、後藤 章友²⁾
¹⁾稲沢厚生病院、²⁾稲沢厚生病院循環器内科
- 160 高齢者に生じた皮下深部解離性血腫の3例
遠藤 英樹 (えんどう ひでき)、奥 葵
大阪鉄道病院
- 161 当院でレオカーナを導入した重症下肢虚血の症例報告
江川 舞華¹⁾ (えがわ まいか)、石川 哲三¹⁾、下永 貴司²⁾、高橋 俊介³⁾
¹⁾国立病院機構呉医療センター、²⁾国立病院機構呉医療センター循環器内科、
³⁾国立病院機構呉医療センター腎臓内科

12:00~13:00 ランチョンセミナー9 「IL-17 登場 10年の歴史から考える乾癬治療戦略」

座長：氏家 英之(北海道大)
川村 龍吉(山梨大)

- LS9-1 乾癬治療の変遷とこれからの展望～乾癬の生涯治療を考える～
杉田 和成 (すぎた かずなり)
佐賀大
- LS9-2 乾癬の長期コントロールを目指した早期治療介入と治療選択
大石 直人 (おおいし なおと)
黒部市民病院

共催：マルホ株式会社/ノバルティスファーマ株式会社

13:30~15:20 ワークショップ2 「皮膚外科」

司会：鳥山 和宏(名古屋市立大形成外科)
加藤 裕史(名古屋市立大)

- WS2-1 みんな、メスを持とう！～皮膚外科の楽しさを語ろう～
鳥山 和宏¹⁾ (とりやま かずひろ)、加藤 裕史²⁾
¹⁾名古屋市立大形成外科、²⁾名古屋市立大
- WS2-2 左耳介有棘細胞癌
加納 慎二 (かのう しんじ)
名古屋市立大
- WS2-3 眼瞼に生じた基底細胞癌
坂本 翔一 (さかもと しょういち)
和歌山県立医大
- WS2-4 眉間部の隆起性皮膚繊維肉腫の1例
小森 崇矢 (こもり たかや)
近畿大

WS2-5 鼻翼部有棘細胞癌
鹿見山 浩 (かごやま こう)
富山大

第4会場 (16F アイリスII)

8:00~8:50 モーニングセミナー4 「Psoriatic disease の概念から考える治療戦略～早期治療介入の重要性～」

座長：藤田 英樹(日本大)
大久保 ゆかり(東京医大)

MS4-1 リウマチ医から見る Psoriatic disease 早期治療の重要性
川合 聡史 (かわあい さとし)
聖路加国際病院Immuno-Rheumatology Center

MS4-2 今こそグセルクマブの使いどころを考える
安田 正人 (やすだ まさひと)
群馬大

共催：大鵬薬品工業株式会社/ヤンセンファーマ株式会社

9:00~11:00 一般演題14 「悪性腫瘍 (悪性黒色腫を除く)」

座長：有馬 豪(藤田医大)
波部 幸司(三重大)

- 162 左乳頭部に生じた基底細胞癌
鍋嶋 伸浩 (なべしま のぶひろ)、真柄 梓、鳥山 えりか
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
- 163 高齢者の顔面に生じ、肉腫様の分化を伴った基底細胞癌の1例
小高 愛莉奈¹⁾ (こだか えりな)、飯野 志郎¹⁾、岸本 千波¹⁾、松田 堯子¹⁾、北野 祐平¹⁾、
尾山 徳孝¹⁾、長谷川 稔¹⁾、村元 暁文²⁾、樋口 翔平²⁾、今村 好章²⁾、勝尾 公祐³⁾
¹⁾福井大、²⁾福井大病理部、³⁾杉田玄白記念公立小浜病院
- 164 放射線照射30年後に発症した頭部の基底細胞癌の1例
上野 桃 (うえの もも)、金子 高英、高森 建二、須賀 康
順天堂大浦安病院
- 165 放射線治療後頬骨壊死を認めた局所再発切除不能基底細胞癌に対し pembrolizumab が奏功した1例
西澤 綾¹⁾ (にしざわ あや)、井上 緑¹⁾、巻口 萌¹⁾、後藤 啓介²⁾、上條 朋之³⁾、寺尾 保信⁴⁾、
山口 達郎⁵⁾
¹⁾都立駒込病院、²⁾都立駒込病院病理科、³⁾都立駒込病院耳鼻咽喉科、頭頸部外科、
⁴⁾都立駒込病院形成外科、⁵⁾都立駒込病院遺伝子診療科
- 166 術中デザイン変更を要した頭部基底細胞癌の前外側大腿皮弁再建例
中村 亮太¹⁾ (なかむら りょうた)、鳥山 和宏¹⁾、森田 皓貴²⁾、高橋 ひとみ¹⁾、森永 悠介¹⁾、
吉村 宗士¹⁾、坂 美保¹⁾、中本 汐音¹⁾、加納 慎二³⁾
¹⁾名古屋市立大形成外科、²⁾名古屋大形成外科、³⁾名古屋市立大

- 167 肛門管扁平上皮癌の1例
濱川 健太郎 (はまかわ けんたろう)、小川 浩平、宮川 史、新熊 悟、浅田 秀夫
奈良県立医大
- 168 広範囲の粘膜びらんとして発症した多発口腔扁平上皮癌の1例
宇田 絵美 (うだ えみ)、片岡 葉子、佐藤 佳代、長塚 由美、木村 優香
大阪はびきの医療センター
- 169 ポリコナゾールによる光線過敏、免疫抑制を背景とし左内眼角に生じた有棘細胞癌の1例
加納 慎二 (かのう しんじ)、安井 由希子、吉満 真紀、中村 元樹、加藤 裕史、森田 明理
名古屋市立大
- 170 褥瘡に酷似し左大転子部に生じた有棘細胞癌の1例
塚崎 雪乃 (つかざき ゆきの)、後藤 寛之、小林 あい子、鶴田 大輔
大阪公立大
- 171 免疫染色により、YAP1 遺伝子転座関連腫瘍と推察された porocarcinoma の1例
中川 智絵¹⁾ (なかがわ ともえ)、井川 哲子¹⁾、松尾 梨沙²⁾、岸部 麻里¹⁾、後藤 啓介³⁾、
山本 明美¹⁾
¹⁾旭川医大、²⁾北海道旭川市、³⁾大阪国際がんセンター病理・細胞診断科
- 172 異時性食道癌に対する集学的治療後に左前胸部に生じた帯状皮膚転移の1例
保浦 敬乃¹⁾ (ほぼ たかの)、吉満 真紀¹⁾、加藤 裕史¹⁾、中川 裕愛¹⁾、加納 慎二¹⁾、中村 元樹¹⁾、
小川 了²⁾、原田 真之資²⁾、森田 明理¹⁾
¹⁾名古屋市立大、²⁾名古屋市立大消化器・一般外科
- 173 指趾乳頭状腺癌の2例
永濱 陽¹⁾ (ながはま みなみ)、望月 亮佐¹⁾、南 裕介¹⁾、高井 利浩¹⁾、後藤 啓介¹⁾、岩谷 博篤²⁾
¹⁾兵庫県立がんセンター、²⁾加古川中央市民病院形成外科
- 174 若年女性の右腋窩に発症した乳房外パジェット病の1例
樋口 桃子 (ひぐち ももこ)、吉満 真紀、加藤 裕史、安井 由希子、中川 裕愛、加納 慎二、
中村 元樹、森田 明理
名古屋市立大
- 175 ダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法を行った BRAF V600E 変異陽性乳房外
Paget 病の1例
森 章一郎 (もり しょういちろう)、奥村 真央、酒井 良樹、服部 いくみ、秋山 真志
名古屋大
- 176 右頬部のメルケル細胞癌の1例
浦上 貴弘 (うらかみ たかひろ)、金 晴恵、植村 彩記、岡本 千明、小林 里佳、津田 真里、
四十万谷 貴子、寺井 沙也加、楨村 馨、清原 隆宏
関西医大総合医療センター
- 177 粉瘤様外観を呈した耳垂部の Merkel 細胞癌
折茂 杏夕果^{1,2)} (おりも あゆか)、吉川 顕太^{1,2)}、中西 佑以子^{1,3)}、米山 寿子¹⁾、三石 剛¹⁾
¹⁾さいたま赤十字病院、²⁾順天堂大浦安病院、³⁾埼玉医大

- 178 頭部皮膚血管肉腫治療後に頭蓋内感染症を合併した 3 例
中野 英司¹⁾ (なかの えいじ)、高橋 聡²⁾、緒方 大¹⁾、福田 朱美¹⁾、松本 薫郎¹⁾、鶴田 成二¹⁾、
中山 裕一¹⁾、並川 健二郎¹⁾、山崎 直也¹⁾
¹⁾国立がん研究センター中央病院、²⁾国立がん研究センター東病院
- 179 肝臓原発と考えられた血管肉腫の 1 例
小林 あい子^{1,2)} (こばやし あいこ)、後藤 寛之¹⁾、鶴田 大輔¹⁾
¹⁾大阪公立大、²⁾府中病院
- 180 下腿 Stewart-Treves 症候群の 1 例
伊藤 加奈 (いとう かな)
高崎総合医療センター
- 181 Superficial CD34-positive fibroblastic tumor の 1 例
平澤 真澄¹⁾ (ひらさわ ますみ)、入澤 亮吉¹⁾、谷川 真希²⁾、長尾 俊孝²⁾、原田 和俊¹⁾
¹⁾東京医大、²⁾東京医大病理診断科
- 182 臀部に生じた Low-grade fibromyxoid sarcoma の 1 例
植村 彩記¹⁾ (うえむら さき)、金 晴恵¹⁾、岡本 千明¹⁾、浦上 貴弘¹⁾、小林 里佳¹⁾、津田 真里¹⁾、
四十万谷 貴子¹⁾、寺井 沙也加¹⁾、榎村 馨¹⁾、鈴木 健司²⁾、清原 隆宏¹⁾
¹⁾関西医大総合医療センター、²⁾関西医大総合医療センター形成外科
- 183 右肩に生じた Bednar 腫瘍の 1 例
岡 佑樹 (おか ゆうき)、加納 慎二、安井 由希子、中村 元樹、加藤 裕史、森田 明理
名古屋市立大

12:00~13:00 ランチョンセミナー 10 「皮膚科領域の最新研究~New insight and technology~」

座長：神人 正寿(和歌山県立医大)
武市 拓也(名古屋大)

- LS10-1 AI が解き明かす皮膚疾患の未来 新技術がもたらす医療革命
志藤 光介¹⁾ (しどう こうすけ)、小島 要²⁾、山崎 研志¹⁾、葉山 惟大³⁾、小林 里実⁴⁾、
山本 俊幸⁵⁾、大久保 ゆかり⁶⁾、照井 正³⁾
¹⁾東北大、²⁾東北メディカル・メガバンク機構、³⁾日本大、⁴⁾聖母病院、⁵⁾福島県立医大、⁶⁾東京医大

- LS10-2 膿疱性乾癬の最新研究
小川 陽一 (おがわ よういち)
山梨大

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

13:10~14:10 共通講習 3 【地域医療】

座長：久保 良二(蒲郡市民病院)

- 共通 3 地域包括ケアシステムを基盤とした地域連携と皮膚疾患診療
磯貝 善蔵 (いそがい ぜんぞう)
国立長寿医療研究センター

14:20~15:20 **ワークショップ3 「1人赴任で戦う技」**

座長：欠田 成人(済生会松阪総合病院)

- WS3-1 一人赴任で戦う技～三重北医療センターいなべ総合病院～
真柄 徹也 (まがら てつや)
三重北医療センターいなべ総合病院
- WS3-2 一人赴任でも頑張る
中村 賢人 (なかむら けんと)
稲沢厚生病院
- WS3-3 守破離～1人医長は、守から破への一歩～
大石 直人 (おおいし なおと)
黒部市民病院
- グループディスカッション

第5会場 (17F コスモス)

8:00~8:50 **モーニングセミナー5 「ホスラブコナゾールがもたらす治療戦略
～本当に患者が求める爪白癬治療とは?～」**

座長：清水 晶(金沢医大)

- MS5-1 分子マーカーを用いた白癬の感染経路の解析—自施設の解析データからの考察を含めて—
竹田 公信 (たけだ きみのぶ)
金沢医大
- MS5-2 フットケア(糖尿病)の観点から考える爪白癬の治療意義
福田 知雄 (ふくだ ともお)
埼玉医大総合医療センター

共催：佐藤製薬株式会社/エーザイ株式会社

9:10~11:10 **ワークショップ1**

座長：中村 元樹(名古屋市立大)

- WS1 足を診る 暮らしを見る～足病予防のためにできること～
山口 梨沙 (やまぐち りさ)
伊那中央病院フットケア・足病センター

12:00~13:00 **ランチョンセミナー11 「『光線療法の各種概説と運用方法』～UVA1、
PUVA、NB-UVB、エキシマ、UVB-LED～」**

座長：片山 一郎(大阪大名誉教授/大阪公立大)
大山 学(杏林大)

- LS11-1 転換期を迎えた光線療法の現状と今後
安部 正敏 (あべ まさとし)
札幌皮膚科クリニック 北海道札幌市

- LS11-2 開業医はどのように光線療法を使用するべきか～わたしがウシオを選んだ理由～
柳瀬 哲至（やなせ てつじ）
紙屋町やなせ皮膚科クリニック 広島県広島市

共催：ウシオ電機株式会社

13：10～14：10 教育講演 6 「小児と妊娠皮膚」

座長：西田 絵美(名古屋市立大西部医療センター)
中島 沙恵子(京都大)

- EL6-1 新生児期に現れる皮膚疾患～早期治療の必要性の見極め
馬場 直子（ばば なおこ）
神奈川県立こども医療センター

- EL6-2 母性内科 20 年の歩みからみえたもの
村島 温子^{1,2)}（むらしま あつこ）、後藤 美賀子³⁾
¹⁾一般社団法人妊娠と薬情報研究会、²⁾埼玉医大リウマチ膠原病科、
³⁾国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター

14：20～15：20 共通講習 4 【医療福祉制度】

座長：森田 明理(名古屋市立大)

- 共通 4 財源からみた我が国の医療福祉制度のこれまでと今後
平松 修^{1,2)}（ひらまつ おさむ）
¹⁾名古屋市健康福祉局、²⁾名古屋市立大病院企画局長

第 6 会場 (16F サルビア)

8：00～9：30 治りにくい皮膚疾患・どうする？ ⑥

座長：小野 竜輔(神戸大)
大霜 智子(大阪公立大)

- SD6-1 漢方薬
大竹 直樹（おおたけ なおき）
海岸通り皮膚科 愛知県蒲郡市
- SD6-2 酒さ
古橋 卓也（ふるはし たくや）
春日井市民病院
- SD6-3 化膿性汗腺炎
加藤 裕史（かとう ひろし）
名古屋市立大
- SD6-4 接触皮膚炎
欠田 成人¹⁾（かけだ まさと）、杉山 真理子^{2,3)}、松永 佳世子^{2,3)}
¹⁾済生会松阪総合病院、²⁾SSCI-Net、³⁾元藤田医大アレルギー疾患対策医療学

SD6-5 丘疹紅皮症
中島 沙恵子 (なかじま さえこ)
京都大

SD6-6 コリン性蕁麻疹
福永 淳 (ふくなが あつし)
大阪医科薬科大

9:30~11:15 治りにくい皮膚疾患・どうする？ ⑦

座長：夏秋 優(兵庫医大)
満間 照之(一宮市立市民病院)

SD7-1 環状肉芽腫の診断と治療
植田 郁子 (うえだ いくこ)
大阪大

SD7-2 凍瘡
神人 正寿 (じん にん まさとし)
和歌山県立医大

SD7-3 汗孔角化症
久保 亮治 (くぼ あきはる)
神戸大

SD7-4 皮膚で考えるIgG4関連疾患
福本 毅 (ふくもと たけし)
神戸大

SD7-5 ランゲルハンス細胞組織球症 (LCH)
馬屋原 孝恒 (うまやはら たかつね)
川崎医大

SD7-6 扁平苔癬
辻 学 (つじ がく)
九州大病院油症ダイオキシン研究診療センター

SD7-7 梅毒今昔物語
宮城 拓也 (みやぎ たくや)
琉球大

ハンズオン会場 (17F 檜)

13:10~15:10 ハンズオンセミナー 「レーザー治療」

座長：高木 佐千代(名古屋市立大みらい光生病院)

HS-1 皮膚病変に用いるレーザーの基礎
演者・術者：高木 佐千代 (たかぎ さちよ)
名古屋市立大みらい光生病院

HS-2 顔面加齢に関する皮膚・皮下構造の画像診断学的解析

奥田 逸子（おくだ いつこ）

国際医療福祉大三田病院放射線科

機器協力：株式会社ジェイメック/株式会社インテグラル